

## 管理区域内（第2ウラン回収室）でのウランの飛散について（第2報）

平成20年8月9日

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

### 追加報告事項

平成20年8月8日（金）午前9時31分頃に発生した事象に関して、飛散したウラン量の特定及び被ばく線量の追加評価結果について、お知らせ致します。

#### 1. 飛散ウラン量

第2ウラン回収室の室内に飛散したウラン量は、約 $17.8 \times 10^5$ Bq（二酸化ウランとして約18g）となりました。この値は、法令報告の目安値である $3.7 \times 10^5$ Bqを超える結果となりました。

#### 2. 被ばく線量の追加評価結果

作業員2名及び放射線管理課員2名に対し実施していた尿中ウラン量測定結果は、それぞれ下記のとおりでした（括弧内は、鼻スミヤ測定結果）。

昨日の発表において、鼻スミヤ測定の結果で被ばくなしとしていた、作業員及び放射線管理課員各1名について、尿中ウラン量測定の結果、約0.1mSvの内部被ばくがあったことを確認しました。なお、尿中ウラン量測定は継続して確認する予定です。

作業員A：0.15mSv（1.87mSv）

作業員B：0.11mSv（検出下限未満）

放射線管理課員C：0.08mSv（0.32mSv）

放射線管理課員D：0.14mSv（検出下限未満）

先月のウラン飛散事象に続き今回の事象を発生させたことを重く受け止め、原因究明及び再発防止策確立を早急を実施してまいります。

以上

お問い合わせ先：

㈱グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン広報部 東（電話：046-833-2321）